

「箕面『森の探検隊』の取り組み」

指導者の視点での教育活動としての『森の探検隊』の取り組み

大阪青山大学

子ども教育学科

萩原憲二



目的

- 子ども教育学科では、教諭を目指す学生が教育の現場等で役立つ知識を培う学習等がされており、大阪青山大学と当センターが連携・協力し、森林を活用した環境教育の実施、及びプログラムの更なる実践・検証を行うことを目的として「森の探検隊」を実施する。

大学の学修での位置づけ

- 幼稚園・保育士養成科目の保育内容「環境」の演習
- 内容「自然環境のデザイン」の4コマ
 - ①平成28年11月5日(土)9:00～12:00 2コマ…森の探検隊の実習
 - ②11月7日(月)1コマ…グループ毎のまとめ、発表の準備
 - ③11月13日(月)1コマ…「森の探検隊」の評価の発表

①森の探検隊の実習

- 参加学生37名8班構成

- ① 10:10 ～ 11:40「森の探検隊」の実践
(5 名 × 10 班で、各ポイントを回って課題を解く)
- ② 11:40 ～ 12:00 各班でとりまとめ、閉会

実践の様子



開会 内容説明 グループでの打ち合わせ



グループ毎の活動 エドヒガンの幹の太さの測定

実践の様子



活動の振り返り まとめ



まとめの発表

② 「森の探検隊」の内容検討

- 良かったポイントの内容
- 改善が必要なポイント
- どのように改善すべきか。
- 施設面での改善

③「森の探検隊」の評価の発表

- ふれあいセンターの方を迎えた授業でのグループ毎にまとめた内容の発表

【改善が必要なポイント】

- 初めに森の理解を深めてから探検した方が発見を楽しめる。
- 子どもだけで考える時間も大切だが、インストラクターが話に入る方がいい。
- 実際に触れたり、製作ができるポイントもあった方がいい。

考察と改善

成果

- 幼稚園・保育士志望の学生向けの科目であったが、「環境」についての意識の向上に効果があった。
- 「森の探検隊」の活動についての評価を目標にしていたので、指導者としての取り組みの意識をもつことに効果があった。

改善

- 環境についての認識や指導者としての能力を身に付けるためには、環境についての科目に位置づける。
- 森林の遷移や環境の測定も実施する。